

事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニア四日市教室 児童発達支援
事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日（金）
自己評価総括の担当者	吉田、戸上、渡辺

	実施期間	有効回答数(回答者数)	有効回答数(対象者数)
保護者評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	30	33
従業員評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	6	10

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

事業所の強み（※）だと思われること
※より強化・充実を図ることが期待されること

保護者さまや訪問先施設さまと連携し、施設外プログラムの実施や効果的な支援方法の共有など、お子さまの体験を広げ日々の生活に役立てる支援ができています。また、日々の寄り添いや送迎時の配慮に関して、感謝のお声をいただけていること。

事業所の弱み（※）だと思われること
※事業所の課題や改善が必要だと思われること

事業所のスペース（下足や教室等）の狭さや設備面に課題がある点。また、非常時や災害時の避難経路・対応の周知が不足している点。一部スタッフの対応力や、事務手続き（更新連絡等）の配慮において、均質なサービス提供に課題が残る点。

過去の取り組みや課題の振り返り

工夫していることや意識的に行っている取組等

地域資源（すわ交流館など）を活用した施設外でのプログラムを適宜取り入れ、お子さまの体験の幅を広げる工夫を行ってきました。また、保護者様や訪問先施設様へのこまめなフィードバックを通じて、効果的な支援方法の共有に努めています。

事業所として考えている課題の要因等

建物の構造や立地上の制約により、根本的なスペース拡張が難しいこと。災害時対応マニュアル（BCP等）は整備しているものの、保護者様への定期的なリマインドや視覚的・具体的な周知（エレベーター停止時の経路等）が不足していたこと。スタッフ間の経験値の差により、お子さまの特性理解や保護者対応にばらつきが生じてしまっていること。

さらなる充実と改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等

買い物訓練など、より実践的で生活に直結する施設外プログラムの導入を検討する。また、ABAの基本に基づく指導を教室全体で徹底し、お子さまの自己肯定感の向上を図る。

改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等

災害時の避難経路（非常階段の場所等）や避難場所について、お便りや教室掲示、定期的な案内を通じて保護者様へ繰り返し周知徹底する。限られたスペースでも快適に過ごせるよう、オムツ替えスペースの確保や動線の見直しを行う。スタッフのスキルアップ研修（特性理解、保護者対応等）を実施し、支援の質の底上げを図るとともに、更新手続き等のご案内は余裕を持って行うようオペレーションを改善する。